



媒体名： ニッケイ新聞

日付： 2006年7月26日

渡辺洋一講師を迎えて

ロンド和太鼓の講習会

【ロンドリーナ】ロンドリーナ市のシャカラ・グラシオーザ（吉井篤さん経営）で十五日から十八日にかけて、和太鼓講習会が行われた。講師は滞伯中の日本の太鼓集団「天邪鬼」の渡辺洋一氏、影山伊作氏、サンパウロからブラジル太鼓協会の矢野ペドロ会長が同行し、開会式には丹多喜夫パラナ文化連合会会長も出席した。講習を受けたのはロンドリーナ、マリンガ、ローラングジア、カストロなどの青少年六十数人。渡辺講師は、太鼓の起源から楽器として地位を獲得していく過程、太鼓やパチの種類とそれぞれの用途について説明した。また能や歌舞伎、芝居で使用される擬

音や効果音は、みずから模範を示した。影山氏も参加して演奏の実習が行われ、各グループのリーダーたちも後輩の指導に当たった。

今回はまた、参加者に対して検定試験が行われ、太鼓の理論、実習、譜面の読み方などの知識が問われた。講義は文化連合会事務局の土屋雅晴さん、実習は「一心太鼓」グループのメンバーである村上ブルーノさんがそれぞれつとめた。（アリアンサ・リーガ）